

令和6年6月20日（木曜日）

予算決算委員会総務分科会

第1委員会室

出席委員

三和 衛、妻鹿幸二、有馬剛朗、宮下和也、
常盤真功、石堂大輔、竹中由佳、坂本 学、
谷川真由美

【総務委員会（消防局、財政局、政策局）の審査】

開会 14時06分

政策局 14時06分

送付議案説明

- ・議案第61号 令和6年度姫路市奨学学術振興事業
特別会計補正予算（第1回）

質疑 14時08分

（質問）

産学協同研究助成金の対象件数を6件から8件に増やすとのことであるが、令和5年度の申請については、どのような状況だったのか。

（答弁）

令和5年度の申請件数は9件であり、そのうち7件に対して助成を決定している。

（質問）

助成した協同研究の成果について、どのように確認しているのか。

（答弁）

本事業は、市内の大学と播磨圏域連携中枢都市圏に所在する企業が協同で研究し、その成果の実用化を目的に行うものである。

全てを実用化できるわけではないが、平成25年度には姫路獨協大学と本田商店が姫路城に咲く桜の酵母を用いた日本酒を商品化している。また、平成28年度には兵庫県立大学と澤田棉行によるIoT技術を活用した検査システムが、令和2年度には兵庫県立大学と水本機械製作所による鎖の外観検査システムが実用化に至っている。

（質問）

長年にわたり研究して成果を上げたことに対して報告を受けるのか。それとも毎年度、助成研究の結果を見ているのか。

（答弁）

産学協同研究助成選考委員会において、前年度の研究内容について報告を受け、その成果を確認している。

（質問）

基金の残高について説明してもらいたい。

（答弁）

現在、姫路市奨学学術振興基金は約11億円あり、そのうち尾上学術振興助成事業については約1.6億円となっている。

（要望）

今後も市内の大学と播磨圏域連携中枢都市圏に所在する企業の協同研究に対してしっかりと支援するとともに、研究成果をきちんと確認するよう取り組んでもらいたい。

退職者挨拶 14時13分

政策局終了 14時16分

【総務委員会（総務局、デジタル戦略本部、監査事務局）の審査】

【総務委員会意見取りまとめ】

意見取りまとめ 15時57分

- ・分科会長報告について

正副分科会長に一任することに決定。

閉会 15時58分